

自然災害への心構え ～ 世界各国の高校生が北海道で学ぶ ～

9月6日～11日、『世界津波の日』2019 高校生サミット in 北海道」が札幌・奥尻島等で開催され、洞爺湖有珠山ジオパークにも世界16か国96名の高校生が研修に訪れました。

『世界津波の日』高校生サミットとは、世界中の高校生が自然災害とその対応について学び、将来の地域づくりの土台にしてもらおうと設立された国際会議です。

火山の噴火をはじめ、津波や地震、土砂災害、海水面の上昇等、国によって抱える自然災害は様々ですが、参加した高校生たちは有珠山噴火などの噴火災害からの復興について熱心に学び、壮瞥町では果物狩りで大地の実りを味わい充実した2日間を過ごしました。

世界地図で探してみよう！



〈参加者の出身国〉

米国、イタリア、カナダ、クック諸島、
サモア、タイ、中国、ドイツ、ニウエ、
ニュージーランド、バヌアツ、ブラジル、
フランス、ペルー、ミクロネシア、
メキシコ (計16か国)



講演会 開催のお知らせ

『有珠山 ～ 最新の研究成果と火山活動の現状』

2000年（平成12年）の有珠山噴火から、もうすぐ20年になります。

現在有珠山とその周辺には、様々な観測機器が設置され、観測が継続されています。

今回、北海道内で火山研究に携わる方々が集まる「火山勉強会」で、公開講演会が開催されることになりました。最新の研究成果や、観測データに基づいた有珠山の現状についての研究発表が行われます！

次の噴火に向けての備えを進めるきっかけとして、皆様のご参加をお待ちしています。

開催日時 : 令和元年10月26日(土) 17:00～18:30

場 所 : 洞爺湖町役場3階 防災研修ホール(虻田郡洞爺湖町栄町58番地)

発表者 : 北海道大学・気象台(予定) 主催 : 北海道火山勉強会

入 場 料 : 無 料

内容のお問い合わせ先: 北海道火山勉強会事務局

(北海道大学大学院理学研究院内) 松本

TEL 011-706-3585



